

Sports Fukushima

スポーツふくしま

29
2013.3

(財)福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



I will play sports together!
みんなでスポーツを!



巻頭言

スポーツが開く福島の未来

スポーツには二つの楽しみがあります。それは自らを取り組む楽しみと、観戦する「見る」楽しみです。

テレビでは毎日多くのスポーツ競技が放送されています。特に昨年は、本県から5人のアスリートが参加したロンドンオリンピック・パラリンピックが「スポーツを見る」最大の楽しみだったことと思います。映像を通して伝わる選手の緊張感や会場の興奮を共有できるということ、一つ一つがシナリオのないドラマであること等が大きな魅力となり、見る者に大きな感動を与えました。一方で、子ども達にとって「見る」ことは、スポーツの世界への扉を開ききっかけとなります。映像を見てスポーツの世界を知り、実際に自分の体を動かすことで文字通りその楽しさを体験した子どもは、生涯、スポーツと深い関わりをもっていくものです。

さて、本県の子どもたちに目を向けるとどうでしょう。震災の影響により、外で遊ぶ機会が少なくなり、それを補うように室内の遊び場が整備されています。ある調査では福島の子どもたちが肥満傾向にあり、体力が落ちているという結果も出されました。これはひいては、子ども達がスポーツから遠ざかる傾向にあるという見方もできるのではないのでしょうか。スポーツをすることは子ども達にとっては、将来に向けた体作りをする上でも重要であり、できる限り体を動かす機会を設けることが大切です。そして福島の子ども達がこのような状況にある今だからこそ、これまで以上にスポーツを見る楽しみを増やし、スポーツへの関心を高めることが必要であると思います。この点で有名選手を招聘し子ども達との交流を図ることや、スポーツイベントに子ども達を連れ出すことが非常に効果的です。先月、FISフリース

スタイルスキーワールドカップ福島猪苗代大会が開催され、迫力ある選手の滑りを見ることができました。また、今年はJFL入りを果たした福島ユナイテッドFCのすばらしい試合を見る機

会にも恵まれます。さらには平成26年に、第98回日本陸上競技選手権が本県で開催されます。大きなイベントは競技人口を増やすものです。子ども達にトップアスリートが競い合う姿を実際に見せ、さらにスポーツを体験させる機会を設ける。それによりスポーツの楽しさやすばらしさを実感させる。本県ではこのようなきっかけを今後も積極的に作っていく必要があると思います。将来を見ずえた子ども達の、そして県民の豊かなスポーツライフを創造するうえでも今が非常に重要な時期です。

現在、2020年夏季オリンピック・パラリンピック開催を目指し東京都の招致委員会が開催地として正式に立候補しています。立候補ファイルによると東京圏の33会場のほか、サッカーの予選はお隣の宮城県などでも行われ、聖火リレーも東北地方を縦断することです。本県としても開催招致に向け応援しているところです。49年前に開かれた東京オリンピックは、日本中の子ども達に夢や希望・勇気と誇りをもたらしました。再び、東京オリンピックの開催を是非とも実現させ、目の前を走る聖火ランナーや各種競技での本県選手の活躍を子ども達に見せたいものです。それが県民に希望や力を与えるだけでなく、未来の本県のスポーツライフの充実につながっていくことになるのですから。



財団法人 福島県体育協会副会長
本間 稔

本協会顧問 本宿 尚氏 ご逝去

去る2月18日、本協会顧問で公立藤田総合病院名誉院長である本宿尚氏が病気のため、ご逝去されました。本協会役員を歴任され、ふくしま国体秋季大会では、本県選手団の団長を務められるなど、永年にわたり福島県のスポーツの発展にご尽力されました。

ここに故人のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

も

1 巻頭言

く

2 第68回 国民体育大会冬季大会結果

3 第68回 国民体育大会冬季大会寄稿

じ

5 平成24年度 財福島県体育協会表彰式

7 うつくしまスポーツキッズ発掘事業

9 「福島ユナイテッド(サッカー)」インタビュー記事

10 「佐々木陽菜選手(フェンシング)」インタビュー記事
インフォメーション

11 福島県スポーツ指導者研修会

応援します!スポーツをする・みる・支える人

12 ウォームアップ・ジャパン from Tokyo ふくしま大運動会

13 みんなでつくろう総合型! 総合型地域スポーツクラブ

14 平成24年度 県民スポーツ振興協会会員名簿

【表紙写真説明】 第68回 国民体育大会冬季大会
アイスホッケー 笠原裕二郎選手 セビオ(株)(福島民友新聞社)
どろフラッグ はなわふれあいスポーツクラブ(スポーツ写真大募集出品)
スキ 伊東美衣子選手 東京女子体育大3年(福島民友新聞社)
スケート 渡邊晟選手 郡山商業高校2年(福島民友新聞社)

※写真のあとの()は
写真提供をいただいた
新聞社名です。

第68回 国民体育大会冬季大会結果

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 (ショートトラック)	平成25年 1/26(土)~2/1(金)	東京都 江戸川区	佐藤 憲保	2	10	5	37	52
	スケート競技会 (スピード)		福島県 山形市						
	アイスホッケー 競技会		東京都 大和市 西東京市						
	スキー競技会	平成25年 2/16(土)~2/19(火)	秋田県 鹿角市	渡部 孝美	1	10	10	46	66

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		13.0点	10点	23.0点	21位	6.0点	10点	16.0点	19位
アイスホッケー競技会		0.0点	10点	10.0点	12位	—	—	—	—
スキー競技会		0.0点	10点	10.0点	23位	0.0点	10点	10.0点	17位
合計		13.0点	30点	43.0点	27位	6.0点	20点	26.0点	22位

3 入賞状況

スケート競技 競技得点 10.0点 天皇杯 21位 皇后杯19位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スピード 500m	6位	3.0点	古川 耀	山梨学院大学2年
	スピード 2000mR	7位	2.0点	野内 俊吾	あぶくま養護学校
				佐藤 健司	福島キヤノン(株)
				清水 秀昭	財団法人福島県体育協会
少年男子	スピード 1500m	8位	1.0点	古川 耀	山梨学院大学2年
	スピード 5000m	8位	1.0点	渡邊 晟	郡山商業高等学校2年
	スピード 1500m	5位	4.0点	渡邊 晟	郡山商業高等学校2年
少年女子	スピード 2000mR	7位	2.0点	水澤 彩佳	郡山商業高等学校2年
				古川 栞有	郡山商業高等学校3年
				古川 幸樹	尚志高等学校2年
				平泉 絵理	郡山商業高等学校3年
				水澤 彩佳	郡山商業高等学校2年



スポーツ祭東京2013に参加して

郡山商業高校2年 水澤 彩佳

1月26日から31日まで、郡山スケート場で「スポーツ祭東京2013」第68回国民体育大会冬季大会のスピードスケート競技が行われ、昨年に続き少年女子1500mと3000mに出場しました。東京都主催の国体ですが、一昨年の12月に被災地の復興支援という観点からスピードスケート競技会場が福島県郡山市に決定しました。この一報を聞き、遠く避難している県民の方々に、素晴らしい結果を届けたいという気持ちになりました。

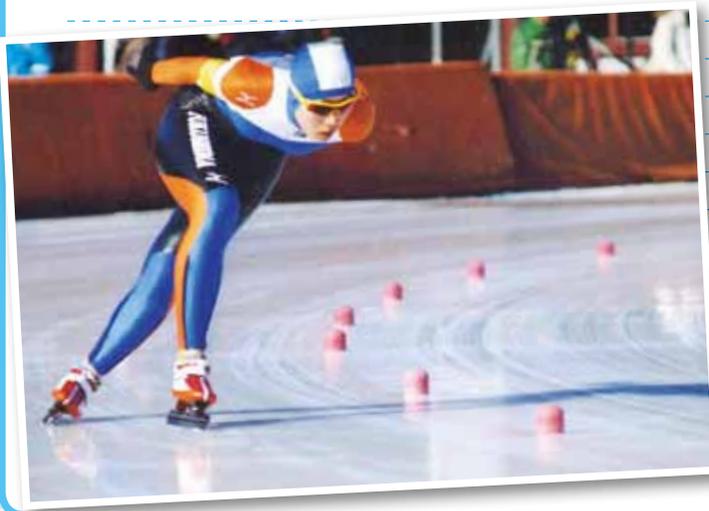
そして、昨年の春からこの国体に向けて例年以上に熱の入った練習が始まりました。今年度は県スケート連盟に「パワーマックス」というトレーニング機器を2台購入していただきました。その機器を使用した練習を中心に、心肺機能を高める練習はもちろん、技術を磨く練習もたくさん行いました。早朝練習では、階段を使った筋力トレーニング等を積み重ねました。8月には北海道帯広市の屋内リンクでの東北氷上合宿や、帯広南商業高校との合同練習に参加しました。今年の1月には山形中央高校の大会事前合宿への参加等、県外の強豪チームとの練習にも参加させていただきました。このような経験から技術や知識の習得はもちろんのこと、スケートに対する心構えなどを改めて考えさせられました。

そして、地元福島の地で国体を迎えました。開会式では郡山市の高校生による「花は咲く」の美しい合唱や子供たちによる「ユリートダンス」などがあり、どれも素晴らしく感動しました。私自身もこれまで積み重ねてきた努力の成果を発揮したいと心が高まりました。競技本番、1500m、3000mともに予選を通過し決勝へと進みました。1500m決勝は、最初からスピードのあるレース展開になり、トップ集団から1秒遅れの5位でゴール。3000m決勝は、最初に責任先頭を完了する私の作戦からは不利となる2列目スタートとなりましたが、うまく3番手につくことができました。ところが責任先頭を取りにいこうと加速した矢先、スケートの刃が他の選手と接触し、転倒し入賞を逃してしまいました。いい位置につけていただけに、悔しさで一杯になりました。その日は、その後に2000mリレーを控えていたので、気持ちを切り替え、少しでも3000mの悔しさを晴らそうという一心で滑りました。結果、9位で受け取ったバトン、2つ順位を上げ7位でゴールすることができました。「地元にも少しでも恩返しを。そして元気を届けたい。」というリレーメンバー4人の思いがこの7位入賞に繋げることができたのだと思います。

今回、地元開催によって福島県選手団だけでなく、家族、地元の小学生、中学生、テレビを見て応援して下さった県民の皆さんから大きな力を感じることができました。応援だけではなく、大会期間中はスーパースポーツゼビオ様のご厚意により「酸素カプセル」の無償提供、また、帯同していただいた長尾トレーナーのサポート等、多くの方々に手厚い協力をいただき、昨年の競技得点10点を上回る13点という結果に繋げることができ感謝申し上げます。

最後に今回の福島県開催を決定していただいた東京都の方々、私たちを応援して下さった県民、全国の皆様、ご協力して下さった皆様、温かく見守りご指導して下さった学校関係者や保護者、そして熱心に指導して下さった先生方に深く感謝申し上げます。

来年は、今年達成できなかった表彰台という目標を必ず達成するために、気を引き締めてふたたび努力していきたいと思ひます。



あきた鹿角国体に出場して

猪苗代町立猪苗代中学校 3年 渡部 大輝

あきた鹿角国体では、スペシャルジャンプとコンバインド競技の二種目に出場しました。スペシャルジャンプもコンバインド競技も、ジャンプの踏み切りのタイミングが全く合わず自分のジャンプができませんでした。スペシャルジャンプでは、高校生を含めた中で、19位になることができたので、少し自信になりました。

コンバインド競技では、前半ジャンプで15位だったものの、後半のクロスカントリーで29位まで順位を落としてしまい本当に残念な結果でした。一人の選手も追い抜くことができず、追い抜かれるばかりで、10kmという距離が練習の時よりも、とても長く感じ本当に悔しい試合になってしまいました。この悔しさを夏のトレーニングに生かして苦しい練習を頑張っていきたいと思っています。

これからの抱負は、県内でスキーの有名校である猪苗代高校に進学し、インターハイ、国体でチャンピオンになることとノルディックスキージュニア世界選手権大会に出場することです。そのためには、1日24時間の使い方を考えて、無駄のない生活をして、北海道、長野県、秋田県、新潟県、富山県等との環境の差を、いろいろなトレーニング法で埋めていきたいと思っています。

また、将来の夢は、オリンピックやワールドカップで活躍できる選手になることです。



距離 女子リレー
左から ▶ 角 育美・長田 愛
酒井 亜樹・角 咲枝



距離 少年男子リレー
左から ▶ 安部 晃史・平野 源太
佐藤 和貴・馬場 貴大



距離 成年男子リレー
左から ▶ 馬場 亮太・新田 拓也
佐藤 啓喜・佐藤 成展



旗手
アルペン成年男子 A
ジャイアント
スラローム
大山 瑠

平成24年度 財団法人福島県体育協会 表彰式

平成24年度財団法人福島県体育協会表彰式は、11月22日に福島市のウエディングエルティにて行われました。式では受賞者の呼名の後、各賞代表者に佐藤雄平会長より表彰状が授与され、受賞者を代表して優秀選手賞を受賞された佐藤真有さん（陸上競技）より謝辞がありました。表彰式終了後行われた懇談会では、会長が各テーブルを回り出席者のみなさんと親しく懇談しました。下記は今年度受賞された皆様です。（敬称は省略させていただきます。）

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 梅津 文子（福島県テニス協会）
- 渡部 洋一（福島県卓球協会）
- 望月 敏博（福島県剣道連盟）
- 松井遵一郎（福島県バスケットボール協会）
- 遠藤 紀明（福島県ラグビーフットボール協会）
- 長澤 初男（福島県ソフトボール協会）
- 菅野 一治（福島県ウエイトリフティング協会）
- 館石久盟蔵（福島県銃剣道連盟）
- 野田 豪一（福島県スポーツチャンバラ協会）
- 諏佐 茂夫（会津地域連合会）
- 古川 兼良（いわき市体育協会）

優秀選手賞（個人） 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- | | | |
|---|---|--|
| <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐藤 真有（東邦銀行） ● 吉田真希子（東邦銀行） ● 青木沙弥佳（東邦銀行） ● 渡辺 真弓（東邦銀行） ● 千葉 麻美（東邦銀行） ● 記野 友晴（福岡大学大学院1年） ● 三浦 茉莉（筑波大学大学院1年） ● 山下 航平（橘高校3年） ● 布川 輝（石神中2年） <p>ソフトテニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北野 亮介（西郷村ソフトテニス協会ジュニアクラブ） ● 檜山 遥斗（西郷村ソフトテニス協会ジュニアクラブ） <p>サッカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 井上 ねね（富岡高校2年） ● 平尾 知佳（富岡高校1年） ● 三宅 史織（富岡高校2年） ● 小島 美玖（富岡高校1年） ● 成宮 唯（富岡高校3年） ● 増矢 理花（富岡高校2年） ● 乗松 瑠華（富岡高校2年） <p>卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 根本 理世（中央大学4年） ● 遊佐 貴志（郡山商業高校3年） <p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 遠藤 太陽（国士舘大学1年） ● 但野 智哉（駒ヶ嶺小学校5年） ● 国分 香奈（郡山第一中学校2年） ● 加藤 和（山梨学院大学4年） ● 山口 雅文（ミズノ） <p>自転車競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緑川 竣一（中央大学2年） ● 我妻 優弥（日本大学2年） ● 安達 康将（日本大学4年） ● 古河 麻美（日本体育大学4年） ● 黒滝 大翔（岩瀬農業高校3年） ● 吉田 優樹（学法石川高校3年） ● 大木 拓斗（学法石川高校2年） ● 佐々木堅次（白河実業高校3年） ● 渡邊 一成（日本競輪選手会福島支部） ● 新田 祐大（日本競輪選手会福島支部） <p>相撲</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大波 渥（学法福島高校3年） <p>バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吉田 邦男（ゼビオ株式会社） | <ul style="list-style-type: none"> ● 遠藤夫美子 ● 内藤 浩司（日本体育大学4年） ● 齋藤 太一（早稲田大学1年） ● 桃田 賢斗（富岡高校3年） ● 松居圭一郎（富岡高校3年） ● 小林 優吾（富岡高校2年） ● 保木 卓朗（富岡高校2年） ● 古賀 穂（富岡高校1年） ● 大堀 彩（富岡高校1年） ● 早田 紗希（富岡高校3年） ● 山澤 直貴（猪苗代中学校2年） ● 吾妻 咲弥（猪苗代中学校2年） ● 仁平 澄也（白河中央中2年） <p>ボクシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 齋藤 晶（拓殖大学3年） ● 須佐 勝明（自衛隊体育学校） ● 小林 敬史（会津工業高校3年） <p>弓道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高井 幸子（福島県弓道連盟福島支部） <p>体操</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 加藤 大地（華舞翔新体操倶楽部） <p>スキー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 渡部 剛弘（明治大学1年） <p>馬術</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 杉本 葵生（富里高校1年） ● 杉本 隆雄（東北馬事センター） <p>ウエイトリフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近内 三孝（田村高校2年） ● 吉田 真弘（平成国際大学4年） ● 官野 由佳（平成国際大学4年） ● 今野 金哉 ● 清野 裕司（福島明成高校） <p>レスリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 湯田 雅暉（田島高校3年） ● 湯田 光（田島高校3年） ● 渡部 広章（日本体育大学2年） ● 角田 友紀（東京農業大学3年） ● 福田 広樹（自衛隊体育学校） ● 井上 佳子（クリナップ株式会社） ● 鈴木 博恵（クリナップ株式会社） <p>フェンシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐々木陽菜（福島成蹊高校1年） <p>なぎなた</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐藤 里咲（会津若松市立第四中学校3年） ● 二瓶千沙都（会津学鳳中学校3年） | <ul style="list-style-type: none"> ● 上野 凜花（会津学鳳中学校2年） ● 齋藤 俊慧（会津学鳳中学校1年） ● 上田小百合（会津若松市立第二中学校3年） ● 大矢 真未（会津若松市立第二中学校3年） ● 鳴瀬 裕美（会津学鳳中学校2年） ● 成田 結唯（会津学鳳中学校2年） ● 山口明佳音（一箕中学校3年） ● 藤田 飛翔（会津若松市立第四中学校3年） ● 宮森 那知（会津学鳳中学校3年） ● 花見佳奈子（会津学鳳中学校3年） ● 佐々木つづる（坂下小学校6年） ● 瀧澤 李穂（謹教小学校6年） <p>カヌー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小久保南海（二本松第一中学校3年） ● 鈴木 康大（(株)久野製作所） ● 宮田 悠佑（鹿屋体育大学3年） ● 中野 友貴（筑波大学3年） ● 三浦 翔太（専修大学3年） ● 佐藤 貴充（専修大学2年） ● 菅野 友城（関西学院大学1年） ● 高橋さやか（福島大学4年） <p>トライアスロン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 石塚 祥吾（日本食研） ● 菊池日出子（チームプレイブ） <p>障がい者スポーツ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐藤 健太（福島県立盲学校） ● 土棚 遥（福島コンピューターシステム株式会社） ● 佐藤 聡（株式会社ダイユーエイト） ● 豊島 英（宮城県警） ● 半谷 静香（筑波技術大学研究生） <p>福島県高等学校体育連盟</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 玉木 雅（郡山萌世高校） ● 山ノ内みなみ（郡山萌世高校） <p>福島県中学校体育連盟</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安部翔一郎（玉川中学校3年） ● 服部 翼（渡利中学校3年） ● 加藤 樹（岳陽中学校3年） ● 寺田 拓未（湯本第一中学校3年） ● 小山 舞（西郷第一中学校3年） ● 鈴木 梨沙（西郷第一中学校3年） ● 三橋 健也（猪苗代中学校3年） ● 小林 大吾（猪苗代中学校3年） ● 仁平 菜月（猪苗代中学校2年） ● 志賀 秀登（石神中学校3年） ● 渡邊 直弥（須賀川第一中学校3年） |
|---|---|--|

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

- | 陸上競技 | |
|--|--|
| ● 第60回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 4×100m R 東邦銀行 | |
| ● 第96回日本選手権 女子4×100m R 東邦銀行 | |
| ● 第96回日本選手権 女子4×400m R 東邦銀行 | |
| ● 第60回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 団体総合 東邦銀行 | |
| ● 第60回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行 | |
| 野球 | |
| ● 第34回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 小名浜少年野球教室スポーツ少年団 | |
| ソフトテニス | |
| ● 第29回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 福島県男子選抜 | |
| サッカー | |
| ● 第90回全国高等学校サッカー選手権大会 尚志高校 | |
| ● 第48回全国社会人サッカー選手権大会 福島ユナイテッドFC | |
| 水泳 | |
| ● 第34回全国ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会 400mメドレーレー 福島スイミングスクール | |
| 自転車 | |
| ● 第81回全日本アマチュア自転車競技選手権大会 トラックレース 4kmチームパーシュート 福島県自転車競技連盟 | |
| バドミントン | |
| ● 平成24年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 男子団体 富岡高校 | |
| ● 平成24年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 女子団体 富岡高校 | |
| ● 第67回国民体育大会 バドミントン競技 少年男子 福島県少年男子 | |
| 弓道 | |
| ● 第30回全国高等学校選抜弓道大会 平工業高校 | |

- | ソフトボール | |
|--|--|
| ● 第67回国民体育大会 ソフトボール競技 少年男子 福島県少年男子 | |
| 銃剣道 | |
| ● 第43回全日本青年銃剣道大会 第44普通科連隊A | |
| カヌー | |
| ● 平成24年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カヤックペア500m 福島県カヌー協会 | |
| ● 2012ピースタニー国際カヌーレガッタ 福島県カヌー協会 | |
| ● 平成24年度全国中学生カヌー大会 女子カヤックフォア500m 福島県カヌー協会 | |
| ● 平成24年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カヤックフォア500m 福島県カヌー協会 | |
| ● 平成24年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カヤックフォア200m 福島県カヌー協会 | |
| ● 平成24年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 女子カヤックフォア500m 福島県カヌー協会 | |
| ● 平成24年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カナディアンフォア200m 福島県カヌー協会 | |
| 綱引 | |
| ● 2011全日本綱引選手権大会 女子ライトフェザー級 マリンエンジェルス | |
| ● 2012全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ジュニア320kg以下クラス 木幡べんてんジュニア | |
| ● 2012全日本ジュニア綱引選手権大会 ジュニア280kg以下クラス ヤングプラザスポーツ少年団 | |
| 福島県中学校体育連盟 | |
| ● 平成24年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 男子団体 猪苗代中学校 | |
| ● 平成24年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 女子団体 猪苗代中学校 | |
| ● 平成24年度全国中学校体育大会 ソフトボール競技 安達中学校 | |
| ● 平成23年度全国中学校体育大会 駅伝競技 女子 安積第二中学校 | |

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- | 陸上競技 | | ● 川本 和久 福島大学 |
|--------|--|----------------------------|
| 野球 | | ● 山岸 勇 小名浜少年野球教室スポーツ少年団 |
| ソフトテニス | | ● 北野 浩 西郷村ソフトテニス協会ジュニアクラブ |
| サッカー | | ● 仲村 浩二 尚志高校 |
| サッカー | | ● 時崎 悠 福島ユナイテッドFC |
| 水泳 | | ● 小柳 隆行 福島スイミングスクール |
| 水泳 | | ● 末永 敏則 福島県水泳連盟 |
| 水泳 | | ● 志田 正弘 スウィン大教スイミングスクール小名浜 |
| バドミントン | | ● 大堀 均 富岡高校 |
| 弓道 | | ● 川尻 浩喜 平工業高校 |

- | ソフトボール | | ● 会沢 尚公 郡山北工業高校 |
|------------|--|-----------------------|
| カヌー | | ● 軽部 英敏 安達高校 |
| カヌー | | ● 今村 和美 二本松工業高校 |
| カヌー | | ● 山田 博史 東和中学校 |
| 綱引 | | ● 竹村 弥生 マリンエンジェルス |
| 綱引 | | ● 内谷 昌史 木幡べんてんジュニア |
| 綱引 | | ● 山田 秀衡 ヤングプラザスポーツ少年団 |
| 福島県中学校体育連盟 | | ● 齋藤 亘 猪苗代中学校 |
| 福島県中学校体育連盟 | | ● 大内 弘康 安達中学校 |
| 福島県中学校体育連盟 | | ● 北澤 和久 安積第二中学校 |

社会体育優良団体賞

地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 本宮卓球クラブ

特別賞

国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 加藤 和 山梨学院大学4年
- 渡邊 一成 日本競輪選手会福島支部
- 新田 祐大 日本競輪選手会福島支部
- 半谷 静香 筑波技術大学
- 桃田 賢斗 富岡高校3年



謝辞 佐藤真有さん



功労賞 菅野一治さん



優秀選手賞 山口雅文さん



優秀指導者賞 大堀均さん



特別賞 渡邊一成さん

平成24年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業 集まれ!! 未来のアスリート

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的に行ってきた本事業は、今年で8年目を迎えました。(平成23年度は震災の影響により中止)

「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、中学生を対象としたジュニアサポートプログラムも実施しています。

第1ステージ◆スポーツキッズ発掘テスト◆

第1ステージ・うつくしまスポーツキッズ発掘テストは、5月～6月の間に、福島県内4会場で行われました。県内全ての小学校に募集をしたところ、多数の応募があり、442名の子どもたちが元気に参加しました。選考の結果、56名が第2ステージに進みました。

●スポーツキッズ発掘テストの内容

テスト内容 (7種目実施)			
25m走	膝立ちボール投げ	全身反応テスト	立五段跳
四方向ステップ	反復横跳	しっぽとりゲーム	

●スポーツキッズ発掘テストの日程と参加者数

実施会場	実施日	会場	参加者数
いわき会場	5月26日	いわき市立総合体育館	68名
会津会場	6月2日	河東総合体育館	76名
県南会場	6月16日	須賀川アリーナ	168名
県北会場	6月23日	城山総合体育館	130名

●スポーツキッズ発掘テストの参加者数内訳

参加者	男子	女子	学年合計
3年生	102名	57名	159名
4年生	76名	56名	132名
5年生	45名	41名	86名
6年生	37名	28名	65名
合計	260名	182名	442名



しっぽとりゲーム



反復横跳



四方向ステップ



膝立ちボール投げ



立五段跳

第2ステージ◆クロストレーニング◆

第2ステージに選考されたキッズは、本協会と競技団体が連携して実施したクロストレーニングに参加しました。クロストレーニングは、8月のコーディネーショントレーニング(開始式)から、12月の宿泊トレーニング(修了式)まで、全9回が行われました。

宿泊トレーニングで実施したトップアスリート交流会には、ロンドンオリンピック・水泳競技銅メダリスト・寺川綾選手、2005ユニバーシアード100m背泳ぎ優勝者・山口雅文選手、ロンドンオリンピック日本代表・加藤和選手をお迎えし、水泳教室を行いました。参加者一人ひとりにストリームラインやクロールなどの手足の正しい使い方を教えていただきました。

また、保護者を対象として成長期の傷害予防に関する講習会や、キッズと保護者合同の栄養学教室も実施しました。

●クロストレーニングの種目と日程

種目	主管団体	日程	会場
コーディネーショントレーニング・食育プログラム (開始式)	県体協 (外部指導者招へい)	8月26日	郡山市
テニス	県テニス協会	9月8日	本宮市
スプリントトレーニング	県体協(県体協職員)	9月22日	福島市
バスケットボール	県バスケットボール協会	10月6日	福島市
バレーボール	県バレーボール協会	10月28日	会津若松市
ボクシング	県アマチュアボクシング連盟	11月18日	いわき市
アイスホッケー	県アイスホッケー連盟	11月23日	郡山市
ハンドボール	県ハンドボール協会	12月2日	本宮市
宿泊トレーニング(修了式)	県体協(外部指導者招へい)	12月15日 ～16日	福島市

開始式



スプリントトレーニング



トップアスリート交流会



テニス



アイスホッケー

第2ステージ◆体験プログラム◆

クロストレーニングとは別に、競技団体主催の体験教室を実施しました。

●体験プログラムの種目と日程

種目	日程	会場地	種目	日程	会場地
自転車	6月30日	いわき市	スケート①	11月3日	郡山市
ライフル射撃	7月21日	二本松市	アーチェリー	11月4日	福島市
カヌー	7月22日	二本松市	銃剣道	11月4日	福島市
スポーツチャンバラ	8月19日	郡山市	スケート②	11月17日	郡山市
バドミントン	9月1日	猪苗代町	トライアスロン	11月25日	福島市
レスリング①	10月6日	いわき市	(10競技12教室開催)		
レスリング②	10月27日	南会津町			

自転車

レスリング

メディカル
チェックテスト①テストからの
フィードバックメディカル
チェックテスト②

第3ステージ◆ジュニアサポートプログラム◆

平成22年度までに選考された中学1年生から中学3年生までのジュニア32名を対象に基礎運動能力の向上を目的としたプログラムを実施しました。

また、保護者を対象に「アスリートの食事・強くなるために」と題し、食育についての講習会も実施しました。

●ジュニアサポートプログラムの種目と日程

種目	主幹団体	日程	会場
コーディネーショントレーニング・食育プログラム (開始式)	県体協 (外部指導者招へい)	8月26日	郡山市
メディカルチェックテスト①	県体協 (ARCクリニック よした整形外科)	9月9日	福島市
テストからのフィードバック	県体協 (ARCクリニック よした整形外科)	9月22日	福島市
メディカルチェックテスト②	県体協 (ARCクリニック よした整形外科)	11月25日	福島市
トップアスリート交流会 (修了式)	県体協 (外部指導者招へい)	12月16日	福島市



福島ユナイテッドFC取材

取材日 平成25年1月25日(金)
10:00~12:00練習
福島市国体記念体育館



金 功青 選手(MF)



時崎 悠 監督

Q.現在はどんな練習をしていますか?

A.震災後は使えるグラウンドもなく、市外や県外まで移動して練習環境を確保した。でもそれをサポートしてくれる多くの人のおかげで今がある。まだまだ厳しい環境にあるが、県内のグラウンド・体育館を使用し練習を行っている。昨シーズン戦った東北社会人リーグより開幕が1ヶ月早いので、それにあわせて上げていかなくてはならない。今までよりタフなリーグになるので、それを戦い抜く身体作りを今やっている。

目標としては上位5位までに入るべく今の戦力にプラスαを身につけなくてはならない。ユナイテッドだけの問題ではなく、スポーツ環境を整備するためにも我々がいい成績を残して、福島の子供たちに夢を与える「スター」でありたい。

Q.監督の指導ポイントは?

A.集団スポーツのサッカーは、団体で大きな力を生み出すことができるスポーツである。そして、まとまる団結力、規律を高め選手の個性を出す指導を心がけている。

Q.JFLを戦うポイントは?

A.チームが出来て7年目でJFLに昇格できた。これまで100人近くの選手がチームを去っている。現在の選手たちはそれらの人たちの分までJFLのステージをかみしめてほしい。

対戦相手のレベルは上がるので今まで以上に毎試合100%の準備をし、さらに、有料試合にもなるので、「あきらめない」という姿勢を選手たちと共に体で現していきたい。

Q.福島の指導者や選手達にエールを。

A.夢を持ちづらい環境・社会になっているが、指導者には指導できる選手がいることの幸せを感じてほしい。選手には目標を高く持ち、「夢」と「信念」を持ってやってほしい。

Q.今のチームの雰囲気はどうか?

A.新しいシーズンに、昨シーズンより上のカテゴリーで戦えるので、モチベーションも高い。また、今まで以上に努力しないと戦えないことは分かっているので、いい雰囲気でのトレーニングができています。

Q.練習のポイントは?

A.キャンプに向けて、また一年間戦うためのしっかりと身体作りをしている。

Q.JFLに昇格したことでの環境の変化はありますか?

A.全国リーグになり、まわりからの注目度も上がる。元気の福島の名前を全国に発信したい。

私は今年で福島に来て5年目、チームでも一番長く在籍している。一緒に入った選手で辞めていった選手もいる。

今回JFLで戦えるのもその選手たちのおかげでもあるので、その人たちの分までしっかり戦いたい。

Q.得意なプレイはなんですか?

A.キックの精度と、MFなのでチャンスメイクが持ち味。

Q.チームの特徴は?

A.全員がハードワークをして、全員攻撃全員守備をすること。課題は今やっていることのレベルを上げていくこと。精度をもっともっと上げていかないとJFLでは戦えない。

Q.休日の過ごし方は?

A.平日は練習とスクールの指導をしている。休日はチームメイトと温泉に行ったり買い物したりする。(今日はこれから南福島の「シルクロード」にみんなでご飯を食べに行きます。)

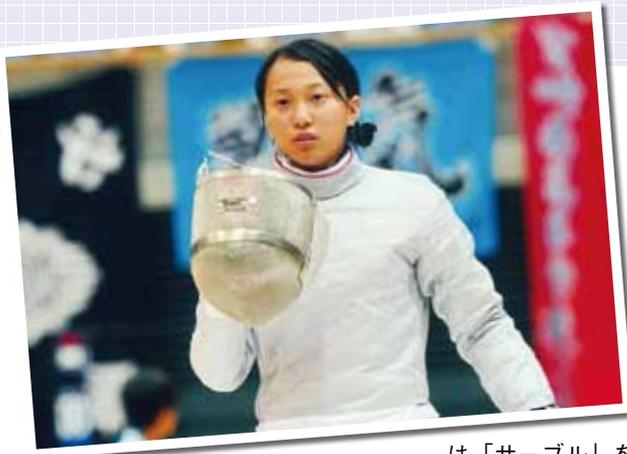
Q.読者のみなさんにひとこと。

A.是非スタジアムに来て、僕たちの「あきらめないで全力で戦う姿勢」を見てもらいたいです。応援よろしくお願ひします。

第15回 日本フットボールリーグ(JFL) 日程表

節	日程	開始時間	HorA	対戦チーム	会場
(第1節~第17節)					
第1節	3月10日(日)	13:00	AWAY	FC町田ゼルビア	町田市立陸上競技場
第2節	3月17日(日)	13:00	HOME	横河武蔵野FC	福島市信夫ヶ丘陸上競技場
第3節	3月24日(日)	13:00	HOME	SC相模原	福島市信夫ヶ丘陸上競技場
第4節	3月31日(日)	13:00	HOME	FC琉球	沖縄市陸上競技場
第5節	4月7日(日)	13:00	HOME	栃木ウーヴァFC	福島市信夫ヶ丘陸上競技場
第6節	4月14日(日)	13:00	AWAY	MIOびわこ滋賀	甲賀市陸上競技場
第7節	4月21日(日)	13:00	HOME	ホンダロックSC	郡山市菅西部サッカー場
第8節	4月27日(土)	13:00	AWAY	佐川印刷SC	京都市西京極総合運動公園陸上競技場
第9節	5月1日(水)	13:00	HOME	HOYO大分	福島市信夫ヶ丘陸上競技場
第10節	5月5日(日)	15:00	AWAY	Y.S.C.C	ニッパツ三ツ沢球技場
第11節	5月12日(日)	13:00	HOME	ツエーゲン金沢	会津陸上競技場
第12節	5月19日(日)	13:00	AWAY	HondaFC	Honda都田サッカー場
第13節	5月26日(日)	13:00	HOME	ブラウブリッツ秋田	福島市信夫ヶ丘陸上競技場
第14節	6月2日(日)	13:00	AWAY	カタマール讃岐	香川県営サッカー場
第15節	6月9日(日)	13:00	HOME	ソニー仙台FC	福島市信夫ヶ丘陸上競技場
第16節	6月15日(土)	15:00	AWAY	AC長野パルセイロ	南長野運動公園総合球技場
第17節	6月23日(日)	13:00	HOME	藤枝MYFC	田村市陸上競技場

(第18節~第34節)	節	日程	開始時間	HorA	対戦チーム	会場
第18節	6月30日(日)	13:00	HOME	佐川印刷SC	福島市信夫ヶ丘陸上競技場	
第19節	7月7日(日)	13:00	AWAY	HOYO大分	大分市営陸上競技場	
第20節	7月13日(土)	15:00	HOME	Y.S.C.C	福島市信夫ヶ丘陸上競技場	
第21節	7月20日(土)	15:00	AWAY	ツエーゲン金沢	金沢市民サッカー場	
第22節	7月28日(日)	15:00	HOME	HondaFC	会津陸上競技場	
第23節	8月3日(土)	16:00	AWAY	ブラウブリッツ秋田	仁賀保グリーンフィールド	
第24節	8月10日(土)	15:00	HOME	カタマール讃岐	福島市信夫ヶ丘陸上競技場	
第25節	9月15日(日)	13:00	AWAY	ソニー仙台FC	宮城県サッカー場Aグラウンド	
第26節	9月22日(日)	13:00	AWAY	栃木ウーヴァFC	小山運動公園陸上競技場	
第27節	9月29日(日)	13:00	HOME	FC琉球	福島市信夫ヶ丘陸上競技場	
第28節	10月5日(土)	13:00	AWAY	SC相模原	相模原麻溝公園競技場	
第29節	10月20日(日)	13:00	AWAY	藤枝MYFC	藤枝市民グラウンドサッカー場	
第30節	10月27日(日)	13:00	HOME	AC長野パルセイロ	鏡石町宮見山陸上競技場	
第31節	11月3日(日)	13:00	AWAY	ホンダロックSC	宮崎小林総合運動公園陸上競技場	
第32節	11月10日(日)	13:00	HOME	MIOびわこ滋賀	鏡石町宮見山陸上競技場	
第33節	11月17日(日)	13:00	HOME	FC町田ゼルビア	福島市信夫ヶ丘陸上競技場	
第34節	11月24日(日)	13:00	AWAY	横河武蔵野FC	武蔵野市立武蔵野陸上競技場	



『フェンシングにかける思い』

福島成蹊高校1年 佐々木 陽菜

両親も姉もフェンシング選手として活躍していたこともあり、小学校2年生から自然にフェンシングを始めました。松川小学校での陸上部の活動や小学校4・5年生の時にスポーツキッズ事業で様々なスポーツを経験した事、また、川俣フェンシングクラブの仲間たちと頑張ってきた事が今の自分に繋がっていると思います。

フェンシングには「フルーレ」「エペ」「サーブル」がありますが、私は「サーブル」を得意としています。攻撃に（突く）（斬る）があり、試合の展開が速く迫力があるところが好きです。海外選手とは格格的に不利な面もありますが、フットワークの良さに磨きをかけて世界へ挑戦していきたいです。

今年度は、世界選手権・アジア選手権など多くの大会に出場しました。その中でも一番印象に残った大会は、香川県で開催された「全国サーブルチャレンジカップ」です。苦手としている選手との対戦でしたが、技も気持ちも攻め切る事ができ優勝した大会だからです。

日頃は、学校の体育館の一部をお借りして父と練習をし、土日は、ナショナルチームの合宿や東京の大学へ行き、練習をしています。大変な時もありますが、周囲の方々の温かい声援や協会・学校からの協力のおかげで続ける事ができていると感謝しています。フェンシングでの経験を通して、体力だけでなく精神力も強くなりました。

2月7日～10日に行われた「ヨーロッパ・カデ・サーキット・オーストリア大会」では、日本人最高順位である12位という成績を収める事が出来ました。それにより、3月にバンコクで行われる「アジア・ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会」の出場権を獲得する事が出来ました。これからも、「継続は力なり」の言葉を胸に4月の「世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会」では、個人ベスト8入賞と将来的にオリンピックを目指して頑張っていきたいと思います。

*今回の大会「第20回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会」を含む、7つの大会が世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会の選考となる。「1月1日現在、16歳」の条件の中、獲得ポイント上位4名の選手が日本代表として派遣される。佐々木陽菜選手は現在3番目にポイントを獲得しており、「ヨーロッパ・カデ・サーキット・オーストリア大会」の成績により出場が決定した。

【2～4月の大会】

- 2月17日～「ジュニア・ワールドカップ・ハンガリー大会」（左記の大会結果を基に、下記の大会派遣選手が決定される）
- 3月2日～「アジア・ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会（バンコク）」
- 4月7日～「世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会（クロアチア・ポレチェ）」

インフォメーション

日本体育協会公認スポーツ指導者養成研修会のお知らせ

日本体育協会では、「公認スポーツ指導者制度」を定め、地域スポーツにおいて、各世代に応じた指導ができ、さらに競技力の向上においてもその知識や技能を發揮できる指導者の育成に力を入れています。平成25年度に本県で開催を希望している競技団体は、以下のとおりです。

指導員 ソフトテニス・水泳・弓道・バレーボール・山岳・アイスホッケー

詳細はHPをご覧ください。県体育協会までお問い合わせください。

日本体育協会公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

日本体育協会公認スポーツ指導者は、その資格更新のために最低4年に1度、義務研修会を受講する必要があります。（資格有効期限の半年前までの受講）

※ただし、水泳、サッカー、スキー（コーチのみ）、テニス、バドミントン、剣道、山岳、空手道、アイスホッケー、バウンドテニス、エアロビック（コーチのみ）、ゴルフ、スキーバ・ダイビング、スポーツドクター、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネージャー、プロゴルフ、プロテニス、職業スキーの資格者については、別に定められた条件を満たさなければ資格を更新できません。テニスの指導者は、1ポイントの実績になります。

平成25年度は、会津ブロック、全県ブロック、県南ブロックの3回を予定しています。

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです！

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

① 電話によるご相談
TEL 024-521-7896

② FAXによるご相談
FAX 024-521-7971

③ メールによるご相談
info@sports-fukushima.or.jp

平成24年度 福島県スポーツ指導者研修会

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために年3回の研修会を実施しています。今年度の第2回は全県ブロックで、第3回はいわきブロックで開催しました。

第2回 全県ブロック研修会

- 期 日／平成24年11月25日(日)
- 場 所／ユラックス熱海
- 内 容／
 - 講 義 「コーディネーショントレーニングの理論と方法」
 - 実 技 「コーディネーショントレーニングの実際」
 - 講 師 NPO法人日本コーディネーショントレーニング協会(JACOT)
渡部 琢也 氏



NPO法人日本コーディネーショントレーニング協会(JACOT)の渡部琢也先生をお迎えし、コーディネーショントレーニングについて講習を行いました。午前中の講義では、連結、変換、定位、リズム化、分化、反応、バランスの7つの分野に分け、合理的に鍛えることで身体を巧みに動かす能力を総合的に身につけるトレーニング方法であることについて、資料をもとに説明をいただきました。

午後は、このトレーニング理論をもとに、実際に脳と神経を刺激する多様な動きに挑戦しました。また、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

第3回 いわきブロック研修会

- 期 日／平成25年2月3日(日)
- 場 所／内郷コミュニティセンター
- 内 容／
 - 講 義 「スポーツと栄養について」
 - 講 師 日本体育協会公認スポーツ栄養士 公立藤田総合病院
山崎 有理子 氏
 - 実 技 「指導現場における役立つ救急処置」
 - 講 師 日本体育協会公認アスレティックトレーナー おにざわ接骨院院長
鬼澤 武則 氏



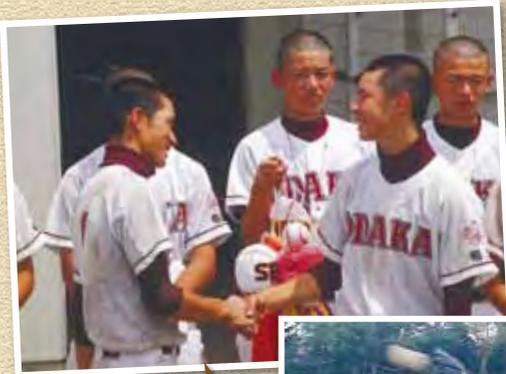
公立藤田総合病院より日本体育協会公認スポーツ栄養士の山崎有理子先生をお迎えし、スポーツ選手と栄養の関わりについて、専門的な立場から講義していただきました。

日本体育協会公認アスレティックトレーナーの鬼澤武則先生からは、指導現場における役立つ救急処置について、足関節の内反捻挫、アキレス腱炎に対するテーピングを中心に実技指導をしていただきました。福島県体育協会認定の相原、藤原、鳴原、永井トレーナーもアシスタントを務めました。

スポーツ
写真
大募集!

応援します!スポーツをする・みる・支える人

生涯スポーツキャンペーン2012の一環で、スポーツをする・みる・支える「写真」を募集しました。出品作品はどれも思いのこもった素晴らしい写真でした。ご出品くださった皆様ありがとうございました。



『完全燃焼の夏』
門馬広治さんの作品



「スポーツ写真大募集」にご応募いただきました作品を数点ご紹介いたします。

『初めての親子マラソン』
小澤敬文さんの作品



『ファインプレー!?!』
いわきコンピュータ・カレッジ学生会さんの作品



『カローリング大会にて』
関根文夏さんの作品

ウォームアップ・ジャパン from Tokyoふくしま大運動会

「ウォームアップ・ジャパン from Tokyoふくしま大運動会」は、東京都、一般社団法人日本アスリート会議の主催で、いわき総合型スポーツクラブユニオン、会津地区総合型スポーツクラブユニオンが中心となり、各関係団体と連携し、開催しました。

多くのオリンピック、パラリンピアンが参加してくださり、スポーツを通じて福島に元気とエールを送っていただきました。

ウォームアップ・ジャパン from Tokyoふくしま大運動会inいわき

10月20日、いわき市総合体育館及び陸上競技場で開催されました。秋晴れの下、オリンピックをお招きし、陸上教室やトランポリン教室、卓球教室、サッカー教室などが開かれ、アスリートの方々から直接指導をいただきました。また、2020年東京オリンピック・パラリンピック招致を盛り上げることも踏まえ、アスリートトークが行われました。オリンピックでの貴重な経験談を聞いたり、市民の方々から質問がされたりして、会場が熱気で包まれました。



【伊藤選手・岸選手のトランポリン教室】



【アスリートトーク】



【朝原さん江里口選手の陸上教室】



【平野選手の卓球教室】

参加アスリート

- 朝原 宣治 さん
(北京オリンピック: 男子4×100mリレー銅メダリスト)
- 江里口 匡史 さん
(ロンドンオリンピック: 男子100m、4×100mリレー日本代表)
- 三浦 淳寛 さん
(シドニーオリンピック: 男子サッカー日本代表)
- 永富 有紀 さん
(アトランタオリンピック: 女子バレーボール日本代表)
- 伊藤 正樹 さん
(ロンドンオリンピック: 男子トランポリン日本代表)
- 岸 彩乃 さん
(ロンドンオリンピック: 女子トランポリン日本代表)
- 平野 早矢香 さん
(ロンドンオリンピック: 卓球女子団体銀メダリスト)
- 太田 雄貴 さん
(ロンドンオリンピック: フェンシング男子団体銀メダリスト)
- 岡本 依子 さん
(シドニーオリンピック: テコンドー女子銅メダリスト)

ウォームアップ・ジャパン from Tokyo ふくしま大運動会 in 会津

1月27日、会津若松市北会津町で開催されました。ホテルの森公園でスノーバトル、北会津中学校体育館では国内トップレベル指導者やトップアスリートによるスポーツ指導が行われました。アスリートトークも行われ、夢を持ち、苦難を乗り越え勝利を得るまでの逸話やスポーツをすることの楽しさ、スポーツを通じた交流の広がり、オリンピック・パラリンピックでの経験など、貴重なお話を聞くことができました。



【アスリートトーク】



【山本選手・大日方選手のスノーバトル】



【仲村さんの卓球教室】



【柳本さんのバレーボール教室】



【植野さんのバドミントン教室】

参加アスリート

- 仲村 錦治郎 さん
(バルセロナオリンピック: 卓球日本代表)
- 柳本 晶一 さん
(アテネ・北京オリンピック:
バレーボール全日本女子チーム監督)
- 植野 恵美子 さん
(バドミントン
全英オープン選手権ダブルス優勝)
- 山本 篤 さん
(北京パラリンピック: 走幅跳銀メダリスト)
- 大日方邦子 さん
(冬季パラリンピック:
アルペンスキーメダリスト)
- 須佐 勝明 さん
(ロンドンオリンピック:
ボクシング日本代表)

みんなで作ろう総合型！ 総合型地域スポーツクラブ

いつでも・どこでも・だれでも
楽しめるスポーツクラブ

西の郷 スポーツクラブ



西の郷スポーツクラブは、2008年2月29日（平成20年）、西郷村に設立された総合型地域スポーツクラブです。当クラブは、幼児から高齢者までが、それぞれに適した教室で、体力の増進、健康維持、競技能力の向上などを目標にして、楽しみながら取り組んでいます。スタッフを始め、会員の方々の交流の場がさらに広がればよいと考えています。

定期活動

- パークゴルフ教室
（27ホール専用コース）
- キッズスポーツ教室
- ジュニアバレーボール教室
- ゴルフ教室
- リトルスポーツ教室
- 卓球教室
- 学童野球教室
- 柔道教室
- かけっこ教室
- 健康体操教室（3ヶ所）
- カローリング教室
- スポーツ吹き矢教室

不定期教室

- トレッキング教室（年2回）
- 親子雪遊び教室
- スナッグゴルフ教室

各種大会

- スナッグゴルフ大会
- ダーツ大会
- パークゴルフ大会
- スポーツ吹き矢大会
- カローリング大会
- 村民地区対抗ゴルフ大会

お問い合わせ先

西の郷スポーツクラブ事務局
〒961-8061
福島県西白河郡西郷村大字小田倉字蛇口1-4 西郷村民体育館内
TEL 0248-21-6351 FAX 0248-25-1102
E-mail nsc@shirt.ocn.ne.jp URL <http://nishinosato-sc.sakura.ne.jp>



ゴルフ教室



パークゴルフ教室



学童野球教室



健康太極拳教室



健康体操教室



キッズスポーツ・リトルスポーツ・かけっこ教室



トレッキング教室



ジュニアバレーボール教室

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター （県体育協会事務局内）

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>
E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター （いわき市民プール管理棟内）

〒970-8032 いわき市平下荒川字南作101
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0246-29-8608
FAX 0246-29-8608

会津広域スポーツセンター （会津若松市ふれあいスポーツ広場ふれあい体育館内）

〒965-0003 会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

平成24年度 福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

福島県商工会連合会	(株)クラロンスポーツ	福島県商工信用組合
福島県信用金庫協会	福島県信用保証協会	(有)吾妻印刷
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合	キング印刷(株)	(株)福島民報社
福島民友新聞(株)	福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)
(株)東館	福島テレビ(株)	東信建設(株)
(株)ファルテック福島工場	(株)東北装美	ゼビオ(株)
(株)環境分析研究所	(株)モリヨシ技研	福島県ゴルフ連盟
(株)ウエディングエルティ	(株)クレハ環境	関場建設(株)
東北建設(株)	(株)ひらい	東開クレテック(株)
庄司建設工業(株)	原町港湾運送(株)	福島日産自動車(株)
福島トヨタ自動車(株)	(株)福島中央テレビ	クリナップ(株)いわき事業所
(株)民報印刷	小名浜製錬(株)小名浜製錬所	クレハ(株)いわき事業所
福浜大一建設(株)	(株)加地和組	クレハ錦建設(株)
堀江工業(株)	大塚製菓(株)郡山出張所	陽光社印刷(株)
名木製帽店	(株)海老名建設	(株)高橋建設
江花建設(株)	(株)ダイユーエイト	(株)ヤクルト本社福島工場
寿建設(株)	福島ヤクルト販売(株)	六陽印刷(株)
(有)エンドースクリーン	(株)NIPPO	北斗印刷(株)
オノヤスポーツ(株)	名鉄観光サービス(株)	スポーツニッポン新聞社福島支局
(株)レオック東北	FSGカレッジリーグ	(株)日産サテリオ福島
(株)トヨタレンタリース福島	(株)テレビユー福島	(株)福島放送
県高等学校体育連盟	福島観光自動車(株)	トーアエイヨー(株)
福島銀行	福島トヨペット(株)	東北索道協会福島地区部会
(株)ル・プロジェ	(株)サンベンディング福島	(株)プロセス印刷
喜多方観光バス(株)	医療法人舘グループ郡山整形外科リハビリテーション科	医療法人待井循環器科内科クリニック
齋藤整形外科医院	(有)むもん	ワタナベカーペット(株)
第一温調工業(株)	(株)佐藤信博建築設計事務所	大宝建設(株)
(株)ヤスタ創建	東栄物産(株)	川俣貨物(株)
セントラルウェルネスクラブ福島	入三機材(株)	(株)福南電気
(株)セルラー電話サービス福島	(株)福々と本舗	医療法人佐原病院
菅野建設(株)	若松測量設計(株)	八幡印刷(株)
(株)いわき印刷企画センター	(有)フラワーロード	

個人の部(加入順)

片平俊夫	菅野正行	下山好宏	北村孝男	結城勝夫	佐藤十次	藤井明
斎藤久男	吉田政勝	山田木耕	岩本忠夫	佐藤昌志	花戸正幸	井戸正仁
星光一	国井裕彦	朽岐博均	岩田本隆	鈴木浩一郎	穴渡山	柴城邊
鈴木木義祐	滝田勝彦	福士寛樹	宗星俊	神野美智男	佐藤東	藤高野
伊藤藤武	渡廣瀬	藤田彌五	平渡	山藤俊明	山渡高	古川康
矢澤根良	野地敬一	富佐藤	佐藤政之	齋藤康夫	平部孝美	渡部美治
白斎須秀	野安藤	福本豊秋	太田敦博	山部敏政	武藤浩二	橋野浩一
佐藤新治	坂本石	砂子田崎	森崎俊洋	高橋光卓	高野脇	森田合
御代井祥一	白佐藤	野崎幸	尾形幸男	八野田	高野脇	森田合
永井常彦	米沢修					
山田一彦	米沢修					
小松光	米沢修					
佐久間光	米沢修					

※平成20年4月から平成25年1月までに協力金のご協力を頂いた個人・団体のみ掲載しております。

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立されました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協会の趣旨をご理解いただくとともに、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間……入会后5年間
- 協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
- 加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局 総務係TEL024-521-1291

編集後記

1月には、第68回国体のスピードスケート競技、2月にはヤフリースタイルスキーワールドカップ等のビックイベントが本県で開催され、多くの県民の方がスポーツの素晴らしさを感じられたことと思います。平成26年には日本陸上競技選手権や全国レクリエーション大会が本県で開催されます。スポーツには「する」「みる」そして「支える」楽しみがあります。この機会にぜひ選手とともに喜び、感動を共有できる「支える」ことをお考えいただけると幸いです。本協会は、スポーツ推進のために、あらゆるスポーツシーンを支えていきます。

スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険



みんなの笑顔で
ガッチリ
安心!

撮影協力：浦和パワーズスポーツ少年団（埼玉県）

対象となる事故 団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間 平成25年4月1日午前0時より平成26年3月31日午後12時まで（申込受付は平成25年3月から）

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う **5**名以上の方々とご加入ください。加入区分は加入者ごとにご選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 身体・財物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、身体賠償は1人1億500万円 身体・財物賠償 合算1事故500万円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴：個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円		
大人 高校生以上 65歳以上 の方も加入 できます。 65歳以上	文化・ボランティア・地域活動、団体員の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円 ◆自動車事故によって賠償責任 を負った場合は、補償の対象 となりません。	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体が1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

スポーツ安全協会 検索 インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町 5-75 福島県庁東分庁舎 3号館 TEL024-526-4600 電話受付時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付帯施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下担保))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または 東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)
(共同引受保険会社(平成25年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上

平成25年1月作成 12-T-09679